



# 立野

練馬区立立野小学校

平成28年 10月号

<http://www.tateno-e.nerima-ky.ed.jp>

## 「秋のおススメ」

副校長 池田 吉弘

今年は、夏の猛暑から一転して不順な天候が続き、一気に秋の気配になりました。空を見上げると、秋の到来を実感することができます。さて、秋にちなんだ言葉を集めてみました。「天高く馬肥ゆる秋」「秋の日はつるべ落とし」「灯火親しむべし」「秋の夜長」「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」等、秋本番です。私からは、2つ提案をします。参考にしていただくと幸いです。この秋をどのように楽しく過ごすか、ご家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

### 秋の夜長の「読書のススメ」

秋の夜長は、本を読むのに最適な季節です。長編に挑戦するのもよいでしょう。いろいろなジャンルの本を読んでほしいと思いますが、子供たちが自分でジャンルを拓げていくことは困難です。大人でさえ、特定のジャンルに偏ってしまいがちです。そこで、大人が意図的に多様なジャンルの本を選び、読み聞かせをすることが重要になります。また、子供たちにどんなお話が好きなのか、お話の中でどこが気に入ったのかを見つけさせることも大切です。実は、読む力のない子は好きな所を見つけられません。そういう子は読書の絶対量が少なく、好きな本を見つけるための着眼点をもっていないのです。読み聞かせは、低学年のイメージですが、高学年にも効果があるそうです。

子供にとって、親にしてもらう読み聞かせは大きな宝物です。親子の絆を深めながら、聞き取る力や理解力がついていきます。読み聞かせを楽しんだ子は、自然と読書や勉強が好きな大人になるそうです。本を読むこと、学ぶことは人生を豊かにしてくれます。ぜひお子さんと楽しい読書タイムを送ってください。

学校では、読書の旅が始まります。量だけではなく、質にもこだわる読書をおススメします。

### 地図を片手に「小さな旅のススメ」

私は、西に向かうたびに富士山が見えるか否かで一喜一憂します。見ると気分は上々です。立野小学校からも富士山観測ができ、実は密かな私の日課でもあります。空中廊下が私の定点観測場所です。他にも観測場所があれば教えてください。私にとって富士山は、いろいろな意味でパロメーター的存在です。

私がかつて居住していた八丈島には、「八丈富士」と呼ばれる標高 854m の富士山に似た美しい円錐形の山があります。学校の遠足や家族と登山気分を味わうことができ、ハイキングにはもってこいです。火口の周りを回る「お鉢巡り」も体験できます。本物の富士山を彷彿させ、身近に感じさせる存在でした。

実は、練馬区内にも複数の富士山があるのです。「富士塚」と呼ばれる人工の山です。江戸時代には病気など旅が困難な人が多く、実際の登山ができなかった人々のために身近な場所に模倣富士山を築造して、誰でも富士参拝が出来るように築いたのが「富士塚」です。私は、小さな旅の富士塚巡りを楽しんでいます。富士塚の山頂に立つと、かつて経験した富士山頂で感じた爽やかな気分を味わうことができます。「お鉢巡り」が体験できる富士塚もあります。スマートフォンのデジタルナビゲーションではなく、アナログな地図を片手に迷いながら周りの風景を楽しみながら、地元練馬の魅力を発見できる手軽な小さな旅をおススメします。

心と体の健康のために秋の夜長の過ごし方と小さな旅に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。